

みずほCustomer Desk Report 2018/10/03 号(As of 2018/10/02)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.02
TKY 9:00AM	113.96	1.1578	131.93	GBP/USD	1.3041
SYD-NY High	114.02	1.1580	131.95	AUD/USD	0.7228
SYD-NY Low	113.53	1.1506	130.71		0.7236
NY 5:00 PM	113.63	1.1546	131.28		0.7162
					0.7188
NY DOW	26,773.94	122.73	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,999.55	▲ 37.76	日本10年債	0.1200	▲1.00bp
S&P	2,923.43	▲ 1.16	米国2年債	2.8129	▲0.80bp
日経平均	24270.6200	24.86bp	米国5年債	2.9487	▲1.53bp
TOPIX	1824.0300	6.07bp	米国10年債	3.0604	▲2.42bp
シカゴ先物	24,255.00	▲ 200.00	独10年債	0.4210	▲5.15bp
ロンドンFT	7,474.55	▲ 21.12	英10年債	1.5265	▲6.00bp
DAX	12,287.58	▲51.45	豪10年債	2.6825	1.90bp
ハンセン指数	27,126.38	▲662.14	USDJPY 1M Vol	6.35	0.00%
上海総合	#N/A	#N/A	USDJPY 3M Vol	6.92	▲0.02%
NY金	1,207.00	15.30	USDJPY 6M Vol	7.42	0.02%
WTI	75.23	▲ 0.07	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	199.97	2.18	EURJPY 3M Vol	8.83	0.18%
ドルインデックス	95.51	0.21	EURJPY 6M Vol	9.15	0.14%

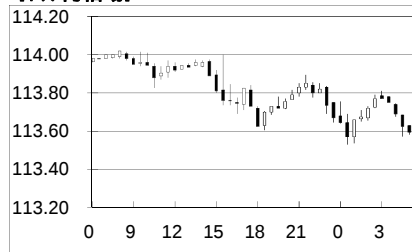
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月2日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.5%
	17:30	英 マークイット建設業PMI	9月	52.1
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月	0.3%/4.2%
10月3日	01:45	米 パウエルFRB議長 講演		「緩やかな利上げ継続を支持」
	03:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演		「政策金利が中立水準に到達したら利上げを停止し様子を見るべき」

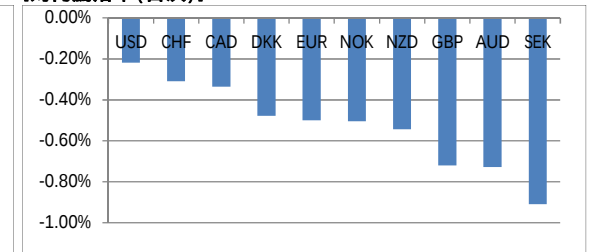
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月3日	17:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月	54.0/53.9
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月	0.2%
	19:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	21:05	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	9月	184K
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月	53.0/-
10月4日	03:00	米 プレイナードFRB理事 講演	-	52.9/53.4
	05:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.20	1.1500-1.1600	131.00-132.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は113円台後半で揉み合い推移となった。イタリア財政懸念からユーロ円が下落したことが重石となったものの、パウエルFRB議長が緩やかな利上げが適切と発言したことはサポート材料となった。本日は明確な方向感が出てく、レンジ相場が継続するものと予想。イタリアを巡っては本日予算案が議会に提出される見通したが、結論がすぐに出るとは考えていない。昨日はアジア通貨が大きく下落していることから本日もその動きが継続するか、他通貨にどのように波及するかは注意が必要だが、中国が休日である中では相場の方向感が出るには至らないと考える。

東京	東京時間のドル円は113.96レベルでオープン。日経平均株価が前日比200円超まで上げ幅を拡大する展開となったこと等から一時114.01まで上昇。114円台での停滞時間は短く、その後は113円台後半での方向感に乏しい推移が続いたが、イタリア債務問題に関連して、イタリア下院予算委員長のボルジスキ氏が「イタリアが自国通貨を持てば、大半の問題は解決すると本当に確信している」と述べたことが伝わり、ユーロ円の急落に連れてドル円は一時113.74まで下落。113.76レベルで海外へ渡った。ユーロドルは1.1578レベルでオープン。狭いレンジ内で値動きが続いたが、上述のボルジスキ氏の発言を受けユーロ売りが進行し一時1.1535まで下落。結局、1.1539レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.76レベルでオープン。イタリア懸念を背景に、リスク回避的な円買いとなり113.61まで売られるが、ユーロが下げ止まるとドル円も買い戻され113.83レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1539レベルでオープン。イタリア予算の懸念が広がる中でユーロ安が進み一時1.1506に低下。伊与党のボルジスキ議員が「イタリアが自国通貨を持った方が良い」と発言したこともユーロ売りを誘ったが、それは政府の方針ではないと後に否定したことでユーロに買い戻しが入り1.1530レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3007レベルでオープン。ユーロに連れ安となる中、英9月建設業PMIが予想を下回り1.2941まで下落。その後ユーロが買い戻されたが、ポンドはやや戻りが鈍く1.2958レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルアリ 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.83レベルでオープン。朝方は、パウエルFRB議長の講演を控え、ドル売りが先行しドル円は113.53まで下落。午後は、パウエルFRB議長の「緩やかな利上げ継続を支持する」「景気は非常にポジティブな見通し」等の発言が伝わり、ドルが再び買い戻される動きに113.81まで戻す。終盤に掛けては、ポンド米財務長官が7日に訪朝することが明らかになるが、ドル円の反応は限定的となり、調整中心の方向感のない取引が続く。113.63レベルでクロスした。一方、ユーロドルはイタリアに対する懸念から海外市場で売りが強まり、1.1506まで下落し、1.1530レベルでNYオープン。朝方はボリス・ジョンソン英外相がメイ首相の離脱案とメイ首相を支持するように呼びかけたことから、ポンド・買いドル売りが強まり、ユーロドルも下値を切り上げ1.1570まで戻す。午後は方向感のない推移が続き、1.1546レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・森谷